

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達教室にじのたね		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達に応じた個別対応が出来る 集団活動が必要な場合も対応できる	<ul style="list-style-type: none"> ○ お子さんのニーズに合わせた個別療育の実施をベースに日常動作訓練や創作活動(季節を感じられるもの)、機能訓練を日々の活動に取り入れている。 ○ 個別支援計画に基づいて必要な場合は集団活動も取り入れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の方へのわかりやすいフィードバックを心がける。 ○ 個々のカリキュラムに沿って効果的に行えるように工夫する。
2	手厚い支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 担当する職員以外にも支援内容を共有することで支援に一貫性を持たせられる。また、療育方法で困った時にも他の職員に相談連携がとれるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家族支援加算を活用して保護者の方への相談援助を大切にしていく。
3	電子ドラムを使用した発達支援が出来る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協調性を養うドラムレッスンを通じ、体幹・筋力を鍛え、認知力を上げる支援を行っている。また、集中力や発想力など生きていくうえで必要なスキルを身につけることができる。 ○ 専門の職員が行うので個々に合わせた楽しみながら行えるカリキュラムを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドラムの時間は、音が苦手なお子さんもいるので個室対応など配慮して行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎がない	<ul style="list-style-type: none"> ○ 送迎を行うための人員配置や準備が整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 療育やフィードバックを大切にしているため、人員が整ったら行えるよう準備はしておく。
2	新規利用児童の受け入れが難しい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見学や新規のお申込みの連絡をいただきますが、ご希望の時間が定員いっぱいのため希望者全員を受け入れることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用希望者の方には待機登録をしてもらうなど空き状況に応じて順次連絡をしていく。
3			